

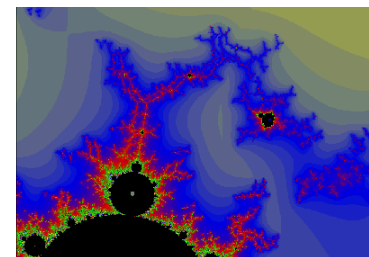
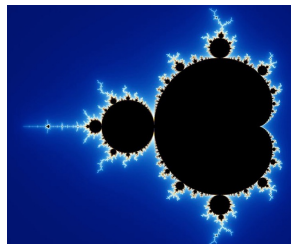
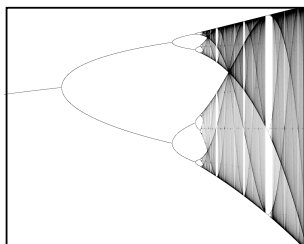
**数理・計算科学系  
数学分野  
研究室紹介**

## テーマA：高次元カオスの数学的メカニズムを解明したい

数学や計算機科学の様々な手法を用います



(数学) 力学系・代数トポロジー・モノドロミー表現  
(計算機) 精度保証付き数値計算・グラフ理論・データ圧縮

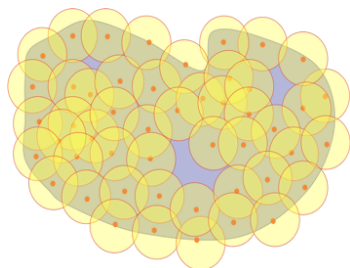


1次元のカオスやマンデルブロ集合の性質は良くわかっている

高次元化すると、まだわからないことだらけ

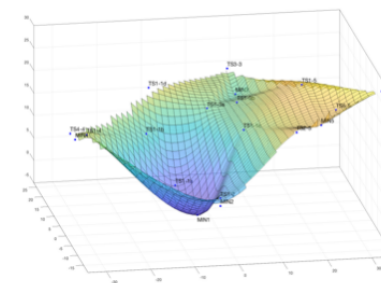
## テーマB：データ解析の新しい手法を開発し、様々な問題に応用したい

代数トポロジーなど、これまでデータ解析にはあまり使われてこなかった数学の応用を探しています



応用例：計算ホモロジーを用いたセンサーネットワーク  
解析でネットワークの「穴」を高速かつ分散的に判定

応用例：グラフの埋め込み理論を用いて、量子化学計算  
の結果からポテンシャル曲面を可視化



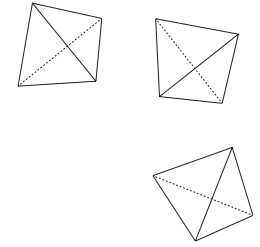
現在進行中：「空間識の幾何による重力覚解明と感覚拡張世界創出」(JST CREST)

サブリーマン幾何学を手掛りに、ヒトが空間や重力をどう知覚するのか理解し、さらに制御したい



# 結び目理論と量子トポロジー

## 鈴木咲衣研究室



結び目や3次元多様体の量子不変量を研究しています。

$$R_{12}R_{13}R_{23} = R_{23}R_{13}R_{12}$$

量子ヤンバクスター方程式

$$S_{12}S_{13}S_{23} = S_{23}S_{12}$$

5角関係式

その他: グラフ理論, 四色問題, パーシステントホモロジー, 圏論など

連絡先: 鈴木咲衣 [sakie@c.titech.ac.jp](mailto:sakie@c.titech.ac.jp)

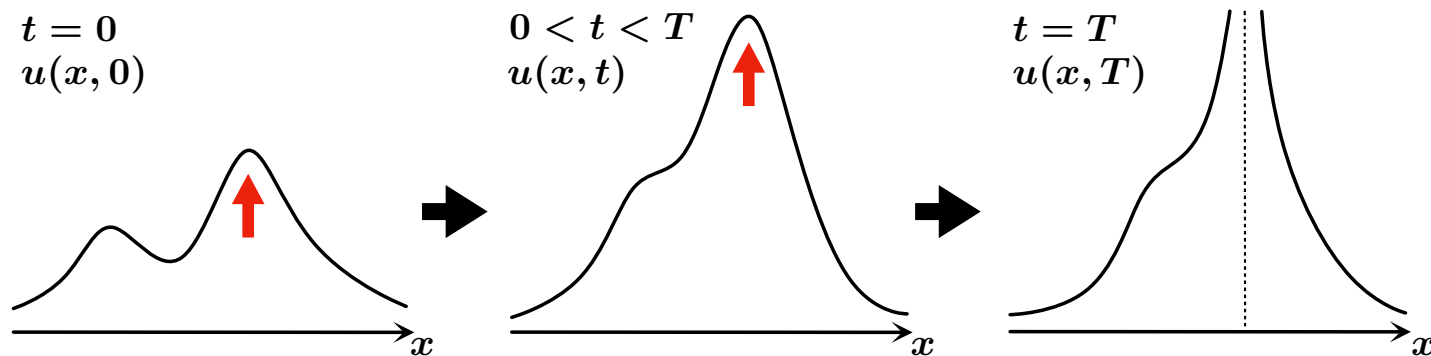
# 高橋研究室: 非線形偏微分方程式の数学解析

- 主に反応拡散方程式:

$$\partial_t u = \Delta_x u + f(u)$$

時間発展 = 拡散 + 反応

- 反応項の選び方により, 多種多様な現象の数理モデル (発熱反応, 化学反応, 生態系, 神経繊維, ...)
- 最近では解の爆発 (特異性の生成) を数学的に解析しています



# 四次元と無限次元

## 松尾研究室

▶ 担当教員：松尾 信一郎

▶ 専 門：微分幾何・位相幾何

- ・ 四次元と無限次元の空間を研究しています。
- ・ 基本的な道具は非線型偏微分方程式で、幾何のことを解析を使って調べています。
- ・ 非線型偏微分方程式を離散化して、**数値計算**をするために、素粒子物理学の格子ゲージ理論の手法を応用しています。
- ・ また、無限次元空間の複雑さを定量化するために、**計算量理論**のKolmogorov複雑性を使う手法があります。

# 十月着任予定

# さいごに

純粹数学でも計算機をもちいたアプローチはいま欠かせないものになっていて、情報系に興味のある皆さんの能力を発揮する機会が十分にあります。

ひとつの数学を深く考えることで新しい概念や考え方を獲得すると、世界が広がって発想や表現がぐっと豊かになります。興味があればぜひこの機会に受験を検討してみてください。